

# 放射能電子分解 蘇生技術

厚生労働省支援技術

蘇る水<sup>®</sup>

生活習慣病の改善 老化が若返る技術

人・水・食・土・住・空・万物が甦る

KOICHI HRATA BIO WATER TECHNOLOGY

地球は「酸素」×「水素」＝「酸化」発生。空気に触れた万物は「破壊的・流動的」細胞が壊れ万物は自然界へ流れ消滅。癌は年間100万人他界。植物の治癒力セラミックス技術発明は、30年間於いて食と水の改善100万回の実験を得て、生活習慣病改善発明を国から支援決定水や空気を蘇らせて日本が困っている「放射能・除染」環境様々な難問題を根幹から解決します



# 汚染水 バイオセラミックス浄化技術

## 人と地球の水を清浄にする BIOセラミックス



酸化した地球の水を、バイオセラミックス処理後～（蘇る水）に変える甦生技術

人類を救済する技術の礎の発明は、1m足らずの観葉植物に植物に特殊な酵素を毎日与えた。植物は、1年半年で3mに成長。天井エアコンの中に入射して（夏10℃の冷風）（50℃の温風）耐え全く枯れなかった。何故枯れない。不思議に思い葉を触るとベトベトの粘液物を出して自分の細胞を守っていた。過酷な環境にも耐える。植物の治癒力を粘土に練り込み1200℃の高温で焼いたバイオセラミックスが誕生した。植物治癒力から誕生したバイオセラミックス（空気）（水）浄化技術を、ドロドロに成った。池の汚水入れると、5時間で池の水の構造が変わり。悪臭分解。水質浄化。環境浄化。半年～一年後水が甦り。神社から池功労感謝状が届けられました。

吉備津彦神社汚水 3333 坪 BOD14

半年映像 処理後 3333 坪 BOD2.6



半年後池の汚水は  
蘇る水の甦生池へ



# バイオセラミックス電子テクノロジー

電子の発見は、植物の治癒技術から誕生した実験の一つが驚愕でした。平成19年10月バイオセラミックスを10リットルタンクに水道水を入れ2週間放置した。部屋には蛍光灯の球が1本切れていた。セラミックスの水をバケツに移し1m移動させた。すると、『5メートル離れた切れた電球の球が（ぱっと）部屋が明るく成った。見ると部屋の電球の球が点灯』した。切れた電球の球の持続時間は2日点灯していた。その日驚愕だった

この水は万物が甦るから《蘇る水》と命名した。世界の誰も見たことが無い蘇生電子が含んでいる。未来に可能性を感じ様々な実験を始めた。セラミックスを布団乾燥機に入れ布団を乾燥した。やはり切れた電気が点いた。外にセラミックスの水を家から持って出た。切れた電球の球に対し《蘇る水》を振り掛けると（グローがピコピコ）点滅した。悪臭など瞬間分解する電子の働きだった。汚水BOD14の池。3333坪に対して5時間で汚水を分解したのは電子です。生活習慣病の改善は体内の水が綺麗に成る為です。



放射能除去実験は一度数値が下がり驚かしたのも放射能のイオン構造を分解したのではないかと平成25年感じた日が有った。未来に可能性を感じたが様々な実験から得た事は放射能をろ過する事を考えた。今後、国と専門家と話し合いをする日が来るだろう

# 全国の海が清流に甦る 魚業水質改善技術

酸化した水を再び甦らせるバイオセラミックス技術は、東京湾の汚水の中に大腸菌が湧く。最悪の悪臭を甦らせ2020年夏8月開催。東京オリンピック会場に甦らせるバイオ水質改善環境浄化技術 イメージ



## 世界中の空気や水を甦らせ、温暖化を防ぎ氷河の氷が甦る《蘇る水》技術

東京湾の下水で汚れた環境悪化悪臭は、水質改善セラミックス散布後～大腸菌削減。環境改善のモデルイメージは、岡山市一ノ宮吉備津彦神社の汚水は、河川の改修工事後～川の水が池に入らず、淡水赤潮が湧き出し誰も改善出来ず。業者も数社入り浄化していたが改善は困難だった。神社としては一刻も早く水質改善を願い山陽放送RSKTV中継も入り。吉備津彦池浄化作戦が始まった。平成21年9月15日AM10時～汚水池3,333坪に水質改善セラミックスを散布。汚水池に雨がパラリ降ると【+】【-】微弱な電子と雨が=電子分解活性起こし。汚水のイオン酸化結合分解。悪臭の元の構造の汚水を分解。5時間後～池の水が変わりその日の6時ニュースで香川岡山県流されました。

汚水が透き通る仕組みは、万物は「イオン構造ベンゼン核」から成り立ち「薬の蜂の巣構造」類似する。特殊なセラミックス接触5時間後（蘇る水）代わり。過去には、セラミックス電子で『汚水のイオン構造をバラバラに離脱』した。万物の原子構造が変わり「酸化⇒分解⇒圧縮⇒凝固⇒沈澱」した。《BOD。PH。全窒素。全リン》汚水はナノミクロに圧縮分解消え《蘇る水》の領域が広がり10億分の一粒子構造に減少した。《蘇る水》触れた万物は、アルミ・鉄。プラスチック・固く成り金属迄ナノ粒子構造に変わった。（例）悪臭・瞬間ガス気化に変わりヘドロ臭が5時間で消えた。半年後～神社池底は1.5mヘドロ悪臭は消え（緑（じゅたん））広がり春の池の底が緑色は其の為です。

日本の海から魚が減少理由。河川から流れる酸化した汚水が海に流れ、海底はヘドロで埋め尽くされ、漁獲高減少は、魚が産卵する藻が無い理由です。汚水の海を甦らせる方法は、水質改善セラミックスを撒く事で『壊れた生態系の海や海底の生命を復活』…可能にします。海が甦る費用対効果は、藻が生え、貝類が増え、プランクトンが湧き、魚は藻に卵を産み付け、小魚を中型魚が食べ、大型の魚が増え。食物連鎖は100年前の海に蘇り、魚業に繁栄を齎すバイオテクノロジーは比類無い技術です。

# 人と海と地球が甦る「生態系」好循環技術

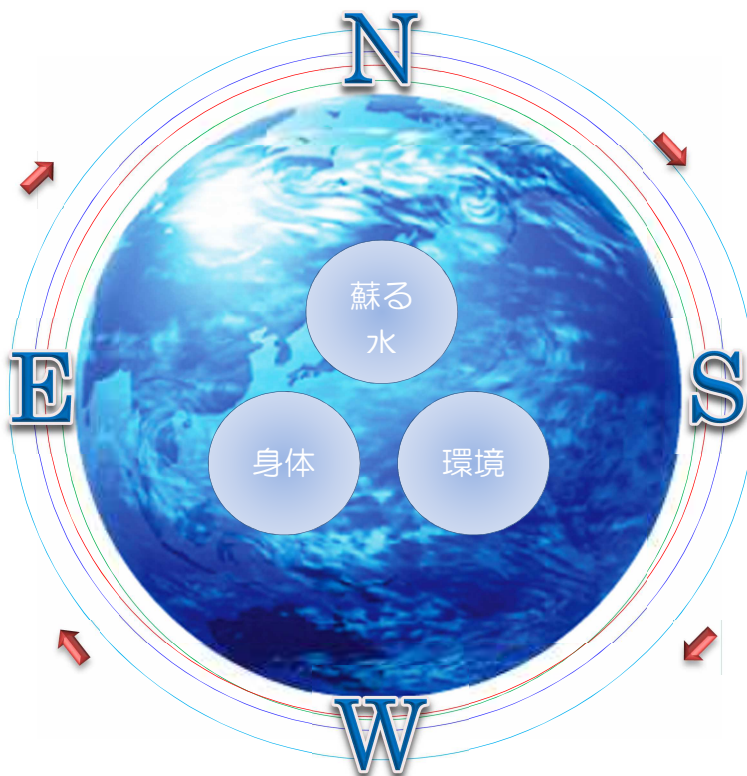
蘇る水～電子酵素「C.カリウム・M.マグネシウム」酸化した水を甦らせる 高度なバイオテクノロジー

人と地球は水で構成されています。空気の酸化は破壊的・流動的に壊れます。食の酸化は細胞が壊れ、血液を汚し生活習慣病を作り糖尿病・1000万人を超えています。蘇る水の調和技術は「電子」「ミネラル」＝壊れた細胞修復が2週間後～老化の若返り。あらゆる難問題を解決する技術です。

植物治癒力持つ蘇る水を作る「セラミックス」に「水道水」接触6時間後～ミネラル「カリウム・マグネシウム」含有。溶け出していきます。微弱な電子が放射され⇒切れた電球の球が点灯した電子エネルギー含有の生体水は「C/M」構成された《蘇る水》は「体液、涙、塩」ミネラル成分と同調しています。

生態系は「C/M」が有り海のミネラルも同じ成分で構成されています。一昔、雑木林に人の手が加わり、清掃が行われ山の腐葉土「C/M」海に流れ、海が肥え栄養豊かな海に成り「牡蠣・真珠」養殖も同じ原理で構成されていたが。現代の生活事情が変わり生活水が川に流れ海底は藻が消えている。その為、魚は沖に行き、沿岸漁獲高減少する理由です

現代の山は清掃が行われず、海に栄養が無く痩せている。自治体は自然界の摂理に気が付き山林の清掃を初め、山から腐葉土ミネラルが流れ、海が肥え豊かな海の幸に恵まれた地域も有る様ですが環境破壊が加速。海の幸恩恵に欠かせ無い壊れた細胞が蘇る「C/M」《蘇る水》調和バイオは世界中必要です



農業は土壌から「C/M」空気の酸化で石灰撒いても雨が降れば川に流れ消滅。成分を補う役割を担うのは（蘇る水）を作る農業専用セラミックス「地下水・川の水・水道水」接触「C/M」溶けだし《蘇る水》は、太陽光と同じ遠赤外線を持つ、セラミックス酵素電子技術は、農業にも人にも切り離せないのです。

生態系は酸素で覆われ「酸素」×「水素」＝空気は生命を育むはずの酸素は、細胞が酸化老化で固くイオン結合され40代過ぎると加齢老化が促進します。しわ増加。頬は垂れ老化が加速。地球と細胞は36兆個の細胞はコンピューター電子で覆われている《蘇る水》蘇生電子が放射され、体内に湧く『ストレスガス分解。活性酸素ガス分解』・酸化イオン結合を、分解・浄化『若く美しく健康に導く』バイオ技術です。

連作障害が起こる原因は、土壌PH5.4酸化原因です。農業は土壌から「C/M」空気の酸化で強い石灰PH9散布後雨が降れば、川に流れ石灰が消えて行きます。成分を補う役割を担うのは《蘇る水》PH7.8を作る農業専用セラミックス「地下水・川の水・水道水」接触「C/M」溶けだします《蘇る水》は、太陽光と同じ遠赤外線を持つ、バイオセラミックス酵素電子技術は海・農業にも人にも切り離せないのです。

# 環境汚染 バイオセラミックス水質改善BOD削減

淡水赤潮

人と地球の水を清浄にする  
BIOセラミックス

吉備津彦神社池 3333坪  
平成21年8月18日 映像

使用前

汚水悪臭

酸化

処理前 計量証明

PH	9.3
BOD	14
全窒素	2.73
全リン	0.43

地球の汚水に、バイオセラミックスに接触させた「(蘇る水)」水質改善技術

水質改善

環境  
浄化

吉備津彦神社池 3333坪  
平成22年5月18日 映像

使用後

悪臭分解

蘇生

処理後 計量証明

PH	7.5
BOD	2.6
全窒素	1.86
全リン	0.28

蘇る水<sup>®</sup>  
THE TATA YOMIGAFUMIZU

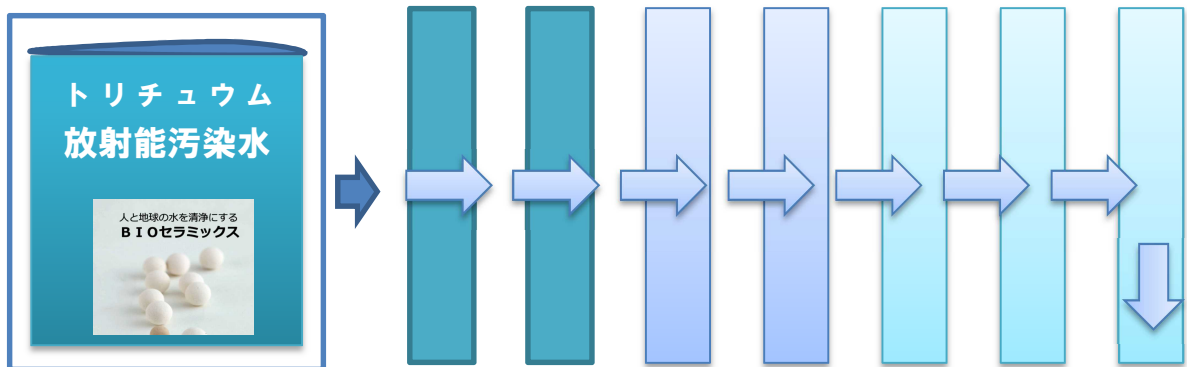
# 放射能汚染水浄化セラミックス《蘇る水》発明 平田耕一

福島第一構内に立ち並ぶ、約960基の巨大タンクに、トリチウムなどを含む水は、110万トン。今後も、年間5万~10万トン新たに出る。東電は、2020年末までに137万トン分のタンクの汚染水を海に流してはいけない。海に流す場合は、一度放射能削減した実験があります。例えば) 汚染タンク『トリチウム水×電子分解×バイオセラミックス』=(蘇る水)へ  
①・②・③ 工程安全な水に甦らせ、国民健康不安を改善、金の浪費を削減・安全な国に導きます

## ①・工程 汚染水放射能物質「トリチウム」ゼロする「酸化」「蘇生」技術

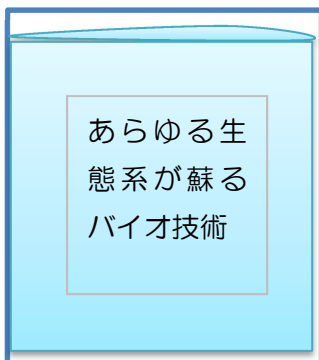
巨大タンクにトリチウム水

汚染水「電子分解」×「バイオセラミックス」電子テクノロジー



## ①②③・工程 イメージ

汚染水タンク中に「酸化」を甦らせる。バイオセラミック入れ半年放置後~分解浄化したデータ実績もあります。現時点は、イメージですが実験こそ結果に繋がる可能性が有る



## ③・工程

バイオセラ遠赤波水質改善は『酸化⇒分解⇒圧縮⇒凝固⇒沈殿』5つの工程で水が無毒化に蘇る水へ。人類を救済バイオテクノロジー



# 放射能土壤汚染 バイオセラミックス土壤改善 浄化技術



放射能土壤汚染は、年数が経過後⇒人が住める程度に放射能が減少するようです。  
土壤汚染に対して（環境浄化バイオセラミックス）を撒く事で地球の自然治癒力が働き  
土壤改善こそ回復が早く成ります。汚水BOD14⇒一年後BOD2.6に下がり圧倒的な水質改善



皮膚の健康から加齢まで若返らせ、地球環境を甦らせるバイオテクノロジー  
岡山市北区丸の内 1-5-19 蘇る水バイオ技術開発 平田耕一 連絡先 090-4308-3778



## 関東東在住 2 人に一人 体内被曝ストロンチウム汚染

関東の2人に1人がストロンチウムに人体汚染されていることが分かりました。またそのなかの多くの方からプルトニウム汚染も見つかりました」 S 医師は、都内 J 天堂大学病院に所属しており、独自にここ2年間人知れず通院してくる患者の協力を得て、人体汚染を調査してきたという。そのきっかけは、S 医師が自身の専門分野の関連として「放射能被曝と老化現象」を調査研究しようと考えたからだ。2人に1人というのはショッキングな結果だ。同フォーラムに出席し、S 医師の発表を聞いた別の腎臓内科の専門 M 医師は次のように話す。「私たちの立場で、赤裸々にこうした調査研究をマスコミに発表してしまえば、特定秘密保護法が足かせになる場合もあるし、業界内外から圧力があるのは避けられないだろう。S 医師から立ち聞きしたということで、資料やソースまでは示せないまでも、意識の高い方々にそれとなく知らせることはしてもいいのではないか」 M 医師の力添えを得て取材を続けることに決めた。S 医師が調査したストロンチウムの人体汚染が、関東の広い地域でみられているのはどういう理由からだろうか。徳島 T 病院の医師によると「ルートは水道水、もしくは野菜、または塩ではないだろうか」という。

S 医師から関東の人体汚染のことを耳にするのとほぼ同時期に、私はチェルノブイリ原発事故の石棺対策の際に、汚染水の漏洩を防ぐために技術指導をした日本人エンジニア、江口工氏への取材も行うことが出来た。江口氏は、黒部ダムや青函トンネルの貫通工事の際に、滝のように湧き出る地下水を魔法のように止めて見せたトップエンジニアだ。江口氏に地下水汚染のことを聞いた。「福島第一原発の地下水は日産1000トン規模だといいます。福島第一原発の建つ地域には水量豊富な川が流れていて、それを埋め立てたとあります。建設に関わった専門家なら誰でも分かる事実です。しかし原発事故後、海洋汚染を避けるために水ガラスなどを利用して、汚染水をせき止めました。それがかえってあだとなり、水路(みずみち)が閉ざされたことで、豊富な地下水が原発の地下をずぶずぶの状態にしなが、他の地域へと流れていこうとしています。そして、福島第一原発の地下汚染水をそのまま放置しておく、遠からず関東のやわらかいスースーの地下を行き交うようになります」

江口氏によると、地下の世界では地上と違い、水は高いところから低い場所へ移動するだけでなく、圧力によって、たとえば低い場所から高い場所へ、海側から陸側へといったように自由に移動するという。

そのスピードは100メートル進むのに1年かかる場合もあれば、数十キロメートルをわずかな時間で進むこともあるという。地表から眺めただけでは推測不能だという。もしも、福島第一原発で溢れ続ける地下汚染水が、関東の水源地にすでに到達しているとしたら？ ストロンチウムは水を媒介して、水の環境循環に乗り、広く拡散、汚染することが分かっている。たとえばその結果、S 医師の調査した人体汚染に繋がるとすれば、一見すると異常だと思われる調査内容にも、道理がいくのである。原発事故で開いてしまったパンドラの箱は、福島だけでなく、日本そのものを飲み込もうとしている。

※・文章はネットから拝借

### ■・細胞を守る技術使用料 一日20,236円安価 尚且つ安全な方法をご提案致します

体内被曝セシウム・ストロンチウム汚染から国民を守る方法。バイオセラミックスに接触させた(蘇る水) 一日20 瓶⇒236円国民の健康を守る技術スーパーで購入した(野菜・果物・魚)を《蘇る水》に10分浸けると食材についた放射能を洗い流す事が可能に成ります。炊飯時の前に研ぐときも《蘇る水》活用して下さい。放射能は水に溶けやすく簡単に洗い流せます。体内に蓄積しても、粒子の小さな(蘇る水)を一日2000cc~飲用する事で、体内に溜まった放射能を、排尿・排便にてデドックスする方法が一番重要です。